

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等ががこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 1997年1月1日 ～ 2025年12月31日の間に虎の門病院分院腎センター内科に入院・通院され、腹部CT検査を施行された、透析患者の方（過去、現在は問わず）。

### 【研究課題名】

ADPKDとサルコペニア:透析患者における筋肉量、脂肪量の後方視観察研究

### 【研究の目的・背景】

透析患者では慢性炎症、栄養障害、身体活動低下などを背景としてサルコペニアの合併が多いことが報告されています。CT画像を用いた筋肉断面積および脂肪量評価は、全身の体組成を反映する信頼性の高い指標として確立されています。ADPKD（常染色体優性多発性嚢胞腎）は腎・肝嚢胞による臓器腫大や代謝異常が体組成評価に影響を与える可能性がありますが、透析患者においてCTをベースとした疾患毎の筋肉量・脂肪量評価は限られているのが現状です。本研究では、透析歴を有し腹部CTを施行された患者を対象に、ADPKD患者同士、ならびに非ADPKD患者において、L3レベルの筋肉断面積および脂肪量を後方視的に比較し、ADPKDがサルコペニアに及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。

### 【研究期間】

2026年3月19日 ～ 2030年12月31日

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院分院 において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査結果、診療記録など

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：腎センター内科 ・ 澤 直樹

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【利用する者の範囲】

他の共同研究機関はありません。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 澤 直樹

電話 044-877-5111(代表)